

# 平成18年度 きのくに技能奨励賞

すみ だ かげ さと  
角 田 景 郷

住 所：和歌山県紀の川市

出 身 地：島根県

生 年：昭和31年

■現在

創作漆器作家

## ◎業績及び経歴

昭和31年島根県安来市に生まれる。平成3年に和歌山県に移住し、現在は紀の川市桃山町峯(細野地区)に自宅兼工房を構える。

主に地元産の杉を素材として、花器や鉢に造形した後、高温で焼くことにより、木の動きを最小限にするという手法を用いて、杉独特の冬目・夏目といった木目の強弱が持つ美しさや、割れや小ひびなど木が内に秘めている力により表出される本来の美しさなどを斬新に表現した作品を創造している。

平成14年には、古来から知られた木と漆の相性の良さを活かして創作漆器である浸潤塗を生み出し、工房のある峯の地にある深山溪谷にちなみ「深山浸潤」と命名する。

創作された数々の作品は、「わかやまグッドデザイン」に選定されるほか、「平成16年度全国伝統的工芸品公募展」では『新人賞』を受賞するなど、卓越したデザインが高い評価を受けている。また、平成15年に「わかやま喜集館」(東京 有楽町)にて展示会及び浸潤塗りのセミナーを開催するなど、「深山浸潤」を漆器の一つの技法として提唱し、塗師である妻の幸子氏と共に創作活動に取り組んでいる。